山形県広報誌 ◆ No.654

県民のあゆみ

2026
11
令和8年
11月号

県政を支えた歴史を刻み、郷土の飛翔を見守り続ける

令和8年8月21日 山形県政150周年



特集 1　戦争の記憶継承の取組み　P.02
特集 2　やまがた教育パートナーズ　P.04
特集 3　県職員の給与の状況　P.05
奏であう人　P.08
ピックアップ 県政150周年　P.12
潜入レポート!　P.16

＼YouTubeからご覧ください。／
やまがたサンデー5でも県政150周年を記念した番組を放送しています。

今月の表紙✦

山形県郷土館
文翔館

写真は、大正5年に完成した2代目の県庁舎。国の重要文化財に指定され、山形の歴史と文化を今に伝えています。

特集

山形の戦争の記憶を、未来へ

戦後80年以上が経過し、戦争を直接体験した人から話を聞くことが難しくなっています。県では、戦争の資料や記憶を、未来へ確実に引き継ぐための取組みを進めています。

山形にもあった戦争

「戦争」と聞くと、激しい地上戦のあった沖縄や、原子爆弾が投下された広島・長崎などを思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし、山形にも戦争は確かにありました。

県内からも多くの人々が戦地へ赴き、命を落としました。また、旧満州（現在の中国東北部）への開拓団には多くの県民が参加し、その数は全国2位でした。県内に目を向けても、東根市には旧海軍の神町航空隊が置かれ、金山町には満州開拓青少年義勇隊の訓練施設として建てられた「日輪舎」が現在も残るなど、各地に戦争の痕跡を見ることができます。さらに、家族が大切に保管してきた写真や手紙、当時の生活用品、家庭内で語られてきた体験があります。

山形にも、地域や家庭に、一人ひとりの戦争の記憶が残されています。



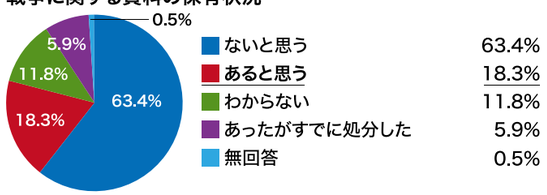
県民の方が保管している当時の写真
（満州開拓団の様子）

失われつつある戦争の記憶

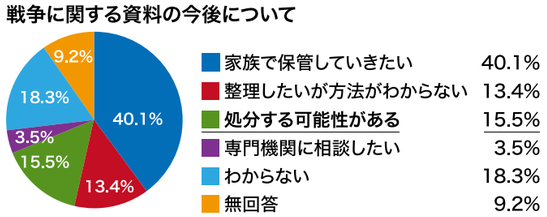
戦後80年以上が経過し、戦争を体験した方が少なくなる中、地域や家庭に残る写真や手紙などの資料は、当時の出来事や人々の暮らしを知るための貴重な手がかりとなっています。

県が実施した県民アンケートでは、18・3％の方が戦争に関する資料が自宅や実家などに「あると思う」と回答。一方、その資料保有者のうち15・5％が「今後、処分する可能性がある」としており、貴重な資料が失われていく可能性があります。

戦争に関する資料の保有状況



戦争に関する資料の今後について



また、世代交代が進むにつれ、資料が残っていても、その由来や背景がわからなくなることも考えられます。地域や家庭に残された資料と、それにまつわる記憶をどのように守り、次の世代へつないでいくのかが課題となっています。

記憶を受け取り、次の世代へ

戦争に関するモノや記憶を次の世代へつないでいくためには、今残されている資料を保存するとともに、そこから戦争について知り、学び、伝えていくことが大切です。

県では今年度、若者が戦争の資料や記憶を受け取り、次の世代へつないでいく活動を支援するモデル事業を実施しています。また、小学生を対象としたワークショップや「語り継ぐ戦争の記憶展」を開催するなど、さまざまな世代が戦争について知り、考え、受け継いでいく取組みを進めています。



モデル事業の実施風景：
戦争体験者からの記憶の聞き取り

若い世代によるモデル事業の実施

令和8年度は、大学生を中心とする2つの学生団体の取組みを採択しました。若い世代が戦争の記憶を受け継ぐ活動を進めています。そのうちの一つ「山形大学まちの記憶を残し隊」は、戦争を体験した方への聞き取りを進め、戦争体験や地域に残る記憶の記録・保存に取り組んでいます。

小学生ワークショップの開催

夏休みに合わせて実施し、山形市や南陽市などから小学生約20名が参加しました。開拓団として満州に渡った両親のもと、現地で生まれ、引揚げを体験した齋藤幸子さんから当時の話を伺いました。参加した小学生は、戦争について考え、感じたことや学んだことをまとめた自分だけのノートを作成しました。



ノート作りに取り組む小学生



講師の齋藤幸子さん（満州引揚げ体験者）

「語り継ぐ戦争の記憶展」を開催

8月1日から27日まで、県生涯学習センター「遊学館」で「語り継ぐ戦争の記憶展」を開催しました。戦争体験者などへの聞き取りをもとに作成したパネルや、戦争体験をつづった手記、関連資料などを展示し、山形に残る戦争の記憶を紹介しました。





これからの継承に向けて

県では、こうした具体的な取組みを進めるとともに、戦争関係資料の保存や記憶の継承を将来にわたって確実に行うため、今後のあり方について議論する検討委員会を設置しました。

委員会には、学識経験者のほか、地域で資料の保存や継承に取り組む方などが参画しています。戦争関係資料の収集・保存をはじめ、戦争体験者の証言の記録、資料のデジタル化や公開、学習での活用、若い世代が継承にかかわる機会づくりなど、幅広いテーマについて検討を行っています。

今後、委員会での議論を踏まえ、地域や家庭に残る貴重な資料を守り、山形の戦争の歴史や記憶を次の世代へつないでいくための取組みを進めてまいります。

YouTubeからご覧ください。
やまがたサンデー5でも「未来へつなぐ戦争の記憶～山形の挑戦～」を放送しています。

▶問い合わせ ◎ 地域福祉推進課 ☎023-630-2995

やまがた教育パートナーズで
子どもたちに豊かな学びと体験活動を

◉ やまがた教育パートナーズって何？

「やまがた教育パートナーズ」は、山形県の教育を学校だけでなく社会全体で支える取組みです。

この取組みに賛同し、登録いただいた企業・団体の教育支援活動をポータルサイトで紹介し、学校やＰＴＡ、子ども会などで活用いただけるようにしています。

このポータルサイトを通して、企業・団体と学校などがつながり、子どもたちに豊かな学びや体験活動を届けることができます。



やまがた教育パートナーズ
YAMAGATA EDUCATION PARTNERS

企業・団体の主な教育支援活動の内容

企業見学　就業体験　探究学習支援　施設や物品の貸出　講師・指導者の派遣



川西町立川西中学校での取組みの様子

ハザードマップを活用して地域の災害リスクについて学び、自宅周辺の地形や想定される災害の種類を調べました。

支援企業：応用地質株式会社 山形営業所



児童クラブまどか（米沢市）での取組みの様子

夏休み中の放課後児童クラブで、生活リズムを整える大切さを教えてもらいました。クイズや動画でみんなで楽しく学ぶことができました。

支援企業：米沢ヤクルト販売株式会社

◉ ＰＴＡ親子行事や子ども会などでも利用できます！原則無償(※)で教育支援活動を実施！

◆ 利用方法はとってもカンタン！利用者登録も不要です！ まずはポータルサイトにアクセス！ ◆

1 サイトにアクセス！
左記二次元コードからポータルサイトにアクセスします。

2 企業・団体を探す！
支援内容、分野、対象、地域等から企業・団体を探します。

3 企業・団体に連絡する！
企業・団体ページの「連絡先」に電話又は、メールをして日程等を調整します。

4 支援を受ける！
企業・団体の特徴をいかした魅力的な体験ができます！

※実費相当分を負担いただくことがあります。詳しくは企業・団体と打ち合せの際にご確認ください。

◉ パートナーになっていただける企業・団体を募集しています！



教育支援活動にご協力いただける企業・団体のみなさまは、ぜひ「やまがた教育パートナーズ」へのご登録をお願いします。

企業の規模や事業形態は問いません。地元の商店などの登録も大歓迎です。子どもたちの学びを支えるとともに、地域とのつながりを深めるきっかけにもなります。見学や体験、講話など、無理のない範囲でご協力ください。社会全体で子どもたちの成長を応援していきましょう。

企業・団体の方は、こちらの二次元コードから登録できます！

◉ トピックス

８月6日に、県教育委員会と山形県商工会議所連合会、山形経済同友会、山形県商工会連合会、一般社団法人山形県経営者協会、山形県中小企業団体中央会は、「教育活動及び人材育成の促進に関する連携協定」を締結しました。

県教育委員会と各団体が力を合わせながら、子どもたちの教育活動の充実につなげていきます。



▶問い合わせ ◎ 生涯教育・学習振興課 ☎023-630-3344

県職員の給与の状況

県職員給与の決定のしくみ

県職員の給与は、民間事業従事者の給与実態などを踏まえた人事委員会勧告に基づき、国や他の地方公共団体との均衡も考慮して、県議会の審議を経て条例で定められています。

行財政改革の取組み

本県では、これまで、平成７年度の「山形県行財政改革大綱」以来、９次にわたり行財政改革推進プランなどを策定し、適正な定員管理及び給与管理を進めてきました。

引き続き、「山形県行財政改革推進プラン2025」（令和７～11年度）に基づき、無駄のない簡素で効率的な組織機構、人員体制の実現に向けて取り組むとともに、職員給与については、適正な制度運用を行っていきます。

人件費の状況

（普通会計決算令和７年度）

歳出額（A）	人件費（B）	人件費率（B／A）	令和6年度の人件費率（参考）
6,821億2,055万円	1,462億1,947万円	21.4%	22.6%

（注）人件費とは、職員に支給される給与、退職手当、地方公務員共済組合負担金、特別職に支給される給与・報酬等の総額をいいます。

職員給与費の状況

（普通会計予算令和８年度）

職員数（A）（令和8年1月1日）	給与費				職員１人当たりの給与費（B/A）
	給　料	職 員 手 当	期末・勤勉手当	計（B）	
16,052(233)人	710億467万円	119億8,764万円	293億3,346万円	1,123億2,576万円	700万円

（注）1．職員手当には退職手当を含みません。　2．（　）内の数は、定年前再任用短時間勤務職員又は暫定再任用短時間勤務職員であり、外書きです。

職員の平均給料・平均給与の月額及び平均年齢

（令和８年４月１日現在）

区　分	給料月額 給与月額	年齢
一般行政職	345,800 円 424,800 円	43歳 5月
警 察 職	355,100 円 485,300 円	39歳 8月
高等学校教育職	410,800 円 452,600 円	47歳 4月
小中学校教育職	385,200 円 415,900 円	42歳10月
技能労務職	340,000 円 377,900 円	54歳 4月

（注）給与月額は給料月額に職員手当の月額を加えたものです。

職員の初任給の状況

（令和８年４月１日現在）

区　分		給料月額
一般行政職	大学卒業程度	234,900円
	高校卒業程度	202,000円
警 察 職	警 察 官 A	269,000円
	警 察 官 B	227,700円
高等学校教育職	大　学　卒	263,200円
	高　校　卒	214,700円
小中学校教育職	大　学　卒	263,200円
	高　校　卒	214,800円

職員の退職手当

（令和８年４月１日現在）

区　分		自己都合	勧奨・定年
支給率	勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
	勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
	勤続35年	39.7575月分	47.709月分
	最高限度額	47.709月分	47.709月分
その他の加算措置		定年前早期退職特例措置（2～20%加算）	
１人当たり平均支給額		（一般職員）882万円	（全体）1,082万円

（注）1．国家公務員と同様の制度となっています。
2．退職手当の１人当たり平均支給額は、令和７年度に退職した職員に支給された平均額です。なお、一般職員とは、全職種に係る職員から警察職及び教育職を除いた職員です。

定員の状況

（各年４月１日現在）

区　分 部　門	定員 令和7年度	定員 令和8年度	増減
知事部局	4,117人	4,117人	
議会事務局	30人	30人	
選挙管理委員会事務局	4人	4人	
監査委員事務局	16人	16人	
人事委員会事務局	15人	15人	
海区漁業調整委員会事務局	1人	1人	
内水面漁場管理委員会事務局	0人	0人	
警察本部	2,350人	2,350人	
教育委員会	9,751人	9,786人	35
教育局	213人	214人	1
小・中・高等学校等	9,538人	9,572人	34
普通会計部門計	16,284人	16,319人	35
企業局	165人	165人	
病院事業局	1,908人	1,889人	▲19
合　計	18,357人	18,373人	16

（注）知事部局に公営事業会計の流域下水道事業会計（13人）を含んでいます。

職員の期末・勤勉手当

（令和８年４月１日現在）

区　分	6月期	12月期	計
期末手当	1.2625月分	1.2625月分	2.525月分
勤勉手当	1.0625月分	1.0625月分	2.125月分
計	2.325月分	2.325月分	4.65月分

（注）国家公務員（計4.65月分）と同じ支給月数となっています。

特別職の給料月額等

（令和８年４月１日現在）

区　分		給料月額等
給　料	知　事	1,289,000円
	副知事	991,000円
議員報酬	議　長	939,000円
	副議長	839,000円
	議　員	808,000円
期末手当	知　事 副知事 議　長 副議長 議　員	6月期　1.725月分 12月期　1.725月分 計　3.45月分

（注）期末手当の額は、給料月額等に100分の45の割合を乗じて得た額を当該給料月額等に加算した額に支給月数を乗じた額です。

▶問い合わせ ◎ 人事課 ☎023-630-2024　　詳しい内容は、ホームページでご覧になれます。▶

県政トピックス

こんなことがありました

Kensei Topics 1 コロラド州姉妹県州締結40周年、ハワイ州と新たに姉妹県州締結

「米国コロラド州・ハワイ州訪問」（令和8年7月26日～8月1日 米国）

本県と米国コロラド州は、姉妹県州盟約締結から40周年を迎え、記念事業に出席のため同州を訪問し、両県州の友好関係のさらなる維持・発展を確認しました。また、米国ハワイ州とは、「つや姫」をきっかけに交流が広がり、教育や観光、文化、産業など、さまざまな分野で交流を重ねてきました。そしてこのたび、7月30日に姉妹県州の盟約を締結しました。これからも、両地域との交流を大切に、友好の輪をさらに広げていきます。



Kensei Topics 2 まいにち、まんてん。ゆきまんてん

水稲新品種「ゆきまんてん」ロゴデザインなどの発表（令和8年8月7日 山形市）

水稲新品種「ゆきまんてん」の来年秋のデビューに向けて、ロゴデザインやキャッチコピーなどを発表しました。

ロゴデザインは、山形の米づくりに欠かせない“太陽・自然・水”を“赤・緑・青”で表現し、中心に「ゆきまんてん」の白さをイメージさせる“雪だるま”のシルエットをデザインしました。

「ゆきまんてん」が多くの方に親しまれるお米として育っていくよう、今後も関係機関と連携して取り組んでいきます。



Kensei Topics 3 令和8年熊本地震の被災地へ職員を派遣

（令和8年8月16日から 熊本県）

7月28日に熊本県で発生した最大震度7の地震に関し、熊本県御船町（みふねまち）へ応援職員を派遣しました。御船町では、災害に係る住家の被害認定調査業務に従事し、被災された方々の生活再建に向けた支援に取り組みました。

派遣先では、町役場や熊本県内市町村の職員、本県を含む他県から応援派遣された職員が一丸となって災害対応に当たりました。県では、今後も熊本県の復旧・復興と被災された方々の生活再建を支援してまいります。



Kensei Topics 4 実りの秋、今年もおいしいお米ができました

「つや姫」「雪若丸」稲刈りイベント（令和8年9月14日 山形市）

米どころ山形の実りの秋を発信するため、吉村知事は山形市立本沢小学校の皆さんとともに、「つや姫」「雪若丸」に加え、来年秋本格デビューを予定している「ゆきまんてん」の稲刈りを行いました。今年は気温が高い日も低い日もありましたが、農家の皆さんの培われた技術と努力により、良質でおいしいお米が実りました。今後も全国へ広くPRし、販路拡大に取り組みながら、「つや姫」「雪若丸」をより多くの皆さまに愛されるお米に育てていきます。



Kensei Topics 5 山形で暮らし、働く。私らしい未来を描く交流会

Yamagata Women's Link in 山形（令和8年9月15日 山形市）

若手社会人女性と女子学生が交流する「Yamagata Women's Link in 山形」を開催しました。吉村知事は「皆さんが輝ける未来をともに創っていきたい」とあいさつし、山形での暮らしや仕事、挑戦したいことについて語り合いました。グループトークでは「人生にはさまざまな選択肢があると分かった」「当たり前をアップデートすることが大事」などの声が寄せられました。県では、今後も女性が山形でいきいきと暮らし、働ける環境づくりを進めていきます。



知事コラム 「スピリット・オブ・ジャパン・デンバー」初出展！



山形県知事 吉村美栄子

本県と米国コロラド州は姉妹県州盟約締結から今年で40周年。7月には県議会代表団や関係団体の皆さまと同州を訪問し、記念レセプションでは、ジャレッド・ポリス州知事とともに両県州の友好関係を今後さらに維持・発展させていくことを宣言し、宣言書に署名してまいりました。

この40周年を契機として、9月には、県と山形県酒造組合が連携し、州都デンバーで2024年から開催されている日本文化発信イベント「スピリット・オブ・ジャパン・デンバー」に初出展！県産日本酒や芋煮（しょうゆ味・みそ味）を提供したところ、多くの方から「おいしい！」と喜んでもらい、山形のイベントでは約6・5mの大鍋で芋煮を調理すると紹介したら「信じられない！」と口々に驚いていたそうです。

山形打刃物やけん玉など、山形の高い技術力や文化に直接触れられるブースでは、親子連れにけん玉が大人気！銀山温泉や出羽三山などもPRし、「ぜひ山形に行ってみたい」との声をいただいたとのことでした。

こうした取組みにより、友好の絆をさらに深め、さまざまな分野で交流を一層積み重ねていけたらいいですね！



撮影場所◎山形県産業科学館（山形市）

奏であう人 vol.89

宇宙がひらく希望、子どもたちと築く山形の未来

山形における宇宙の利活用と普及啓発を行う「宙の種（そらのたね）」の責任者亀井信一さんと、国際宇宙ステーションでの経験を生かし、宇宙技術の可能性と、宇宙から描く山形の未来をお聞きしました。



1985年東京都生まれ。鶴岡市在住。国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟の実験運用管制官として、つくば宇宙センターにて宇宙実験の運用に携わる。鶴岡市への移住後、2016年に鶴岡スペースステーションを立ち上げ、2020年からは「庄内から宇宙へ！」と題したイベントを定期開催。多くの人々に、宇宙の魅力と可能性を伝えている。



鶴岡スペースステーションが企画し、国際宇宙ステーション（ISS）に滞在する宇宙飛行士・油井亀美也さんとリアルタイムでの交信を実施。山形と宇宙を結んだ交信は初となり、参加した子どもたちが宇宙を身近に感じる機会となった。



1960年新庄市生まれ。千葉県在住。1986年東北大学大学院修了後、三菱総合研究所に入社。宇宙実験、分子ナノテクノロジー実験、研究開発戦略や科学技術政策などに従事。政策・経済研究センター長、研究理事を経て、2024年より山形大学寄附講座教授に就任。宇宙産業開発ゼミ「宙の種」を開設し、人工衛星などの利活用プロジェクトを企画。



山形の子どもたちの夢や願いを電子データ化し、人工衛星とともに宇宙へ届けられるベニバナ・サット「宙の種Letter」プロジェクト。集められた思いは、1年間地球を巡ったのち、地球の重力に導かれて大気圏へ突入し、流れ星になる。

心にあった宇宙への想いが再び動きはじめる

亀井さんが宇宙にひかれた原点は、子どもの頃リアルタイムで見たアポロ11号の月面着陸でした。

「夜に空を見上げると、いつも同じ月がありました。でもそこには今、人がいる。子どもながらにそのことにとても感動したのです」。

大学院修了後、国際宇宙ステーションで行う実験の考案や、宇宙空間を利用した材料研究などに携わった亀井さん。その後、宇宙の仕事から長く離れていましたが、山形大学（一財）森の学校寄附講座への招聘を機に、その想いが再び動きはじめます。

「宇宙の仕事からしばらく離れていましたが、山形に来て、もう一度やってみようと。そこで始めたのが超小型人工衛星と宇宙の利活用を発掘するプロジェクトです」。

一方、佐藤さんは中学生の時に気象について学んだ授業をきっかけに、空のさらにその向こうにある宇宙へと興味が広がったと言います。

「思春期でいろいろ悩むこともありましたが、空を見上げて宇宙のことを考えると、自分の悩みなんてちっぽけだなと思って。気持ちが軽くなったんです」。

大学で物理学を学んだ後、電源メーカーに就職。宇宙航空研究開発機構（JAXA）との仕事を通じて宇宙への思いが再び芽生え、やがて国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟の運用に携わる企業へ転職、その後実験運用管制官となりました。

「宇宙に関する仕事がしたいという気持ちを持ち続けていたら、少しずつ道がつながっていきました」。

東日本大震災後に暮らしを見つめ直し、仕事が一段落した後、鶴岡市へ移住。地域の人にも宇宙の魅力を知ってほしいと始めた小さな観測会は、「鶴岡スペースステーション」の活動へと広がっていきました。

宇宙を入り口に山形の可能性を広げる

「『宙の種（そらのたね）』で見据える最終的な目的は、宇宙を舞台に山形でこれをどう使うか。たとえば衛星データの利活用は、より高い付加価値を生み出します。現在、超々小型人工衛星のプロジェクトを始動中ですが、これらを契機に将来、山形に宇宙産業が育てば、人材が集まり、明るい未来につながると考えています。」と亀井さんは言います。

佐藤さんが大切にしているのは、宇宙をもっと身近なものとして子どもたちに届けることだと言います。

「鶴岡には、科学や宇宙に触れられる施設がそれほど多くありません。でも私は、住んでいる場所は関係ないと思っています。どこにいても宇宙の情報に触れられる時代。昨年は観測会や宇宙飛行士とのオンライン交流などのイベントを行いました。参加してくれた子どもの中に、将来は宇宙飛行士になりたいと言ってくれる子も出てきました。そういう言葉を聞くとうれしいですね」。

微笑む佐藤さんに亀井さんが笑顔で応えます。

「明るい未来を創るのは、子どもたち自身です。私たちは、子どもたちに宇宙への憧れや好奇心の種をまき、未来の可能性を広げる機会も提供しています」。

亀井さんの言葉に佐藤さんがゆっくりと言葉を重ねます。

「山形には頑張っている人たちがたくさんいます。山形にいても挑戦できる、夢を持てるんだということを伝えたいと思っています」。

宇宙へ挑む技術と次代を育む学び

「実は、山形にはJAXAと取引のあるものづくり企業が数多くあります。しかし、主戦場は宇宙をどう使うのかに移りつつあります。宇宙関連のソフトウエア産業が山形に根付いていけば、より多くの人をひきつけ、元気な山形につながると思っています。」と話す亀井さんに佐藤さんが応えます。

「宇宙をきっかけに何かに興味を持ったり、やってみたいことを見つけたりしてくれたらうれしい。未来をつくる人を、地域のみんなで育んでいけたらいいですね」。

宇宙を新ビジネスの場としたい亀井さんと、宇宙を身近な学びとして届ける佐藤さん。二人が見つめている先には、山形の未来があります。

第117号 県議会だより

県議会の最新情報 こちらから ☞ 今すぐアクセス！

9月定例会の概要

令和8年9月定例会は、9月16日に、10月8日までの23日間を会期として開催されました。

令和8年7月の大雨被害への対応のほか、次代を担う若者の教育や広域交通ネットワークの充実などの未来志向の県づくりに向けた施策をより一層推進するとともに、本県が抱える様々な課題に対応するための令和8年度一般会計補正予算案や、山形県地域未来基金条例の設定、委員の任期満了に伴う山形県教育委員会委員の任命など、知事提出の議案を審議しました。

今定例会では、コメ余りがもたらす影響と本県の米農家への支援や、庄内地域の更なる発展に向けた交通ネットワークの整備に対する知事の考えなど活発な質疑質問が行われました。



9月定例会で質疑質問を行った議員

質疑の詳細はこちらから

広報誌「県議会やまがた」（公民館等で閲覧可）

会議録検索システム（※9月定例会分は12月以降に掲載予定）

録画中継

代表質問（9月24日）



自由民主党 **相田光照** 議員（米沢市選挙区）

◆コメ余りがもたらす影響と本県の米農家への支援 など



県政クラブ **髙橋　淳** 議員（鶴岡市選挙区）

◆庄内地域の更なる発展に向けた交通ネットワークの整備に対する知事の考え など

一般質問（9月25日）



自由民主党 **森　大輝** 議員（南陽市選挙区）

◆鳥獣被害対策に係る中間支援組織の人材確保 など



日本共産党山形県議団 **関　徹** 議員（鶴岡市選挙区）

◆山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備事業の是非 など



県政クラブ **石川正志** 議員（新庄市選挙区）

◆総合支庁の組織体制見直しの狙い など



自由民主党 **伊藤香織** 議員（山形市選挙区）

◆次世代に戦争の記憶をつなぐ取組み など

名簿順 代表質問

交渉団体である会派※を代表し、県政全般にわたって行う質問のこと。知事の議案説明を受け議場で行います。なお、事前に議長に発言主旨を通告します。

※議長に届け出た会派のうち所属議員が5人以上のもの。山形県議会では、自由民主党と県政クラブの2会派になります。（R8年8月時点）

予算特別委員会（9月29・30日・10月1日）



自由民主党 **阿部恭平** 議員（寒河江市・西村山郡選挙区）

◆公立さがえ西村山医療センター（仮称）の開院1年延期 など



県政クラブ **佐藤　寿** 議員（酒田市・飽海郡選挙区）

◆持続可能な中山間地域農業の実現 など



自由民主党 **佐藤文一** 議員（新庄市選挙区）

◆スマート農業機械の利用拡大に向けた仕組みづくり など



公明党 **菊池文昭** 議員（山形市選挙区）

◆ドクターヘリの運航状況とドクターカーの導入 など



県政クラブ **齋藤俊一郎** 議員（東根市選挙区）

◆民間活力を生かした山形空港の経営強化と利用拡大 など



自由民主党 **相田日出夫** 議員（東置賜郡選挙区）

◆河川の維持管理における機械の導入 など



県政クラブ **吉村和武** 議員（山形市選挙区）

◆県政150周年に当たっての所感と県議会に期待すること など



自由民主党 **森谷仙一郎** 議員（天童市選挙区）

◆東北農林専門職大学附属農林大学校における学生の就農に向けた支援 など

北海道・東北六県議会議長会議、議員研究交流大会を開催

８月２５日、福島県郡山市内で北海道・東北六県議会議長会議が開催されました。本県からは田澤議長と渋間副議長が出席し、交通網の整備促進と財源確保、食料・農業・農村政策の確立など計２３項目を政府に要望することを決定しました。

また、２６日には同市内で北海道・東北六県議会議員研究交流大会が開催されました。福島県酒造組合 特別顧問　鈴木賢二氏による、福島県産酒についての講演を聴講した後、「道県産品振興」、「地方公共交通施策」、「過疎地域の振興」の３つの分科会に分かれて、各道県議会議員が意見交換しました。



議長会議の様子



議員研究交流大会の様子

大雨災害現場の緊急現地調査を実施

令和８年７月２６日の大雨により発生した飯豊町・大巻橋周辺の護岸崩落による被害状況や今後の見通しなどについて、８月３日、建設常任委員会が緊急に現地調査を行いました。





視察の様子

女性・若者と県議会議員との意見交換会を開催

８月５日、女性や若者を中心とした県民から、県議会を身近に感じ、政治への関心を深めていただくことを目的として、一般財団法人酒田コミュニティ財団関係者、酒田市地域おこし協力隊および東北公益文科大学生の皆さんと県議会議員との意見交換を行いました。ワークショップ形式で、「若者が主体的にまちづくりに関わる場づくり」と「若者を支援する上での課題」について活発な意見が交わされました。



生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

生徒・学生が県議会を身近に感じ、主権者としての政治参加意識を高めていただくことを目的として、生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催しました。少人数のワークショップ形式で、本県の現状や取組みなどについて活発に話し合いが行われました。

新庄志誠館高等学校（7月7日）



「地域活性化について」、「新庄から活躍する人材の育成について」および「10代の政治参加について」をテーマに、高校生自らの積極的な行動・発信の重要性や新庄市の活性化の方法などについて様々な意見を出し合いました。

小国高等学校（9月10日）



「小規模校の特色ある教育を持続可能にする仕組み」、「若者が『山形で暮らしたい』と思える地域づくり」をテーマに、交通網の整備や小国町の魅力の発信の必要性など、生徒それぞれの学びや体験に基づく意見交換を行いました。

11月20日（金） 地域議員協議会を開催します

協議会の概要はこちらから

県議会では、各地域における行政課題や施策展開について幅広く調査・審議するため、地元議員が出席する地域議員協議会を開催しています。各総合支庁を会場に、今年は11月20日（金）に開催します。傍聴可能ですので、ぜひ足をお運びください。

◎東南村山地域（村山総合支庁 本庁舎）午後２時～
◎西村山・北村山地域（村山総合支庁 西村山地域振興局）午前10時～
◎最上地域（最上総合支庁）午後２時～
◎置賜地域（置賜総合支庁 本庁舎）午後２時30分～
◎庄内地域（庄内総合支庁）午後１時30分～

▶問い合わせ ◎ 編集発行／県議会事務局政策調査室 ☎023-630-2846

山形県議会 検索

ピックアップ！

県政150周年

記念式典当日の様子をYouTubeで公開しています。

記念映像はこちら

記念イベントを開催

8月21日、山形県は県政150周年の節目を迎えました。同日、県庁で、園児や児童はじめ約150名の県民の皆さまとともに、くす玉割り、演奏、パフォーマンスなどで記念の日をお祝いしました。

また、9月9日には、やまぎん県民ホールで、約1400人の方々にご参加いただき、記念式典・記念コンサートを開催しました。式典の中で吉村知事は、「この150年で培われた知恵と勇気を未来を切り拓く力に変えて、変化を恐れず、たゆまない挑戦を続けることが重要」と呼びかけました。上山藩鼓笛楽隊による演奏、「ふるさとの未来」をテーマにした作文コンクールの最優秀賞受賞者による発表、本県出身の姉妹ユニット「シュガーシスターズ」と山形北高音楽科の生徒による山形県民の歌「最上川」の合唱など、式典は厳かな中にも温かみのある雰囲気に包まれました。続く記念コンサートでは、50年前の県政100周年でも演奏いただいた山形交響楽団が登場。山形ゆかりの曲やクラシックの名曲などが披露され、未来の山形への思いを共有した時間となりました。

県政200周年、300周年と本県の明るい未来に向けて、県民の皆さまと力を合わせ、決意を新たに、これからも挑戦を続けてまいります。







問い合わせ ◎ 広報広聴推進課 ☎023-630-2534

Yamagata Now

地域の旬だより

各地からの情報をお届けします。

最上

高校生が旅立つ前に学ぶ ヒト・モノ・コト

「新庄・最上ジモト大学」は、最上地域の高校生を対象に、進学や就職などで地域を離れる前に、地域の魅力や課題を具体的に知ってもらうことを目的として、大人との対話を通して地域を学ぶプログラムを提供しています。

プログラムは、最上地域の自治体や企業・団体の皆さまが提供しており、医療・農林業・ものづくり・地域の歴史文化など、多彩な内容がそろっています。

ジモト大学は今年度で10年目を迎えました。これまでに実施したプログラムは約300件、参加した高校生は延べ6000人以上！今後も魅力あるプログラムを提供し、地域の新たな活力を生み出せるよう、地域一体となって取り組んでいきます。

プログラムの様子はこちら

Instagram

Facebook



みんなで金山町を街歩き



チェーンソーを操作して林業の仕事を体験

問い合わせ ◎ 最上総合支庁総務課連携支援室 ☎0233-29-1236

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまぎん県民ホール イベント情報

ミュージカル『SPY×FAMILY 2 爆弾犬篇&豪華客船篇』

シリーズ累計発行部数4,200万部を超える人気コミック「SPY×FAMILY」。男はスパイ×少女は超能力者×女は殺し屋。そして未来を予知する能力を持つ大型犬が新たに加わり、ちょっと変わった《仮初めの家族》の新たな物語が始まる。フォージャー家に会えるのは東北エリアでは山形だけ！！



製作 東宝
©遠藤達哉／集英社

開催日時	12月27日(日)～29日(火) 27日(日)：正午／午後5時 28日(月)・29日(火)：正午
出演	ロイド・フォージャー：森崎ウィン／木内健人（Wキャスト）、ヨル・フォージャー：唯月ふうか／真彩希帆（Wキャスト）、アーニャ・フォージャー：泉谷星奈／古座野叶／真野麗花（トリプルキャスト）、シルヴィア・シャーウッド：朝夏まなと／真瀬はるか（Wキャスト）ほか
料金	S席：15,000円　A席：10,000円 B席：7,000円　U-18：5,000円

◎詳しくは やまぎん県民ホール 検索

問 やまぎん県民ホールチケットデスク ☎023-664-2204（受付時間：水～月 10:00～19:00）

山形交響楽団 演奏会情報

真島俊夫 没後10年 山形交響楽団×東京佼成ウインドオーケストラ 合同演奏会

世界最高峰の吹奏楽団東京佼成ウインドオーケストラを山形に迎え、山形交響楽団との共演で吹奏楽と管弦楽の多彩な響きをお届けします。鶴岡市出身で日本を代表する作・編曲家 真島俊夫の名曲を存分にお楽しみください。



©Atushi Yokota
©Kazuhiko Suzuki
©Ayane Shindo

開演日時	11月27日(金)午後7時
出演	指揮：大井剛史 吹奏楽・管弦楽： 東京佼成ウインドオーケストラ 山形交響楽団
演目	真島俊夫：月山-白き山-、最上川舟唄による交響的楽章、三つのジャポニスム 和泉宏隆(真島俊夫編)：宝島 ほか
会場	やまぎん県民ホール　大ホール
料金	S席：5,800円　A席：4,800円 B席：3,000円 ※学生(24歳以下)S、A、B席各半額

◎詳しくは 山響 検索

問 山響チケットサービス ☎023-616-6607

問 県民文化芸術振興課 ☎023-630-2903

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時	対戦チーム
11月3日(火・祝)午後2時	徳島ヴォルティス
11月25日(水)午後7時	ジュビロ磐田
12月6日(日)午後1時	いわきFC
12月13日(日)午後1時	ヴァンラーレ八戸

◎会場：NDソフトスタジアム山形（天童市）

◎詳しくは モンテディオ山形 検索

「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

日時	対戦チーム(会場)
11月4日(水)午後7時05分	アースフレンズ東京Z (山形県総合運動公園)
11月20日(金)午後7時05分 11月21日(土)午後3時05分	金沢サムライズ (山形市総合スポーツセンター)
12月5日(土)午後3時05分 12月6日(日)午後4時05分	ベルテックス静岡 (山形県総合運動公園)
12月9日(水)午後7時05分	福井ブローウィンズ (山形県総合運動公園)
12月19日(土)午後3時05分 12月20日(日)午後2時05分	東京八王子ビートレインズ (三友エンジニア体育文化センター)

◎詳しくは 山形ワイヴァンズ 検索

※最新の情報はホームページをご覧ください。

問 スポーツ振興課 ☎023-630-3156

旬のやまがた 美食レシピ recipe

赤かぶ（温海かぶ）

◉収穫時期：10月～12月

赤かぶは、庄内地域を代表する秋冬の味覚の一つです。鶴岡市の一部地域では、伝統的な焼畑農法が今も受け継がれています。中でも温海地域の在来作物「温海かぶ」を使った赤かぶ漬けは、パリッとした歯ごたえと、かぶの甘みの中にほのかに感じる辛みが人気です。大黒様のお歳夜（としや）のほか、年越しや正月など、季節の行事には縁起物としても食卓に並びます。



赤かぶ漬け入り和風ポテトサラダ

●**材料(2～3人分)**：じゃがいも2個(300g)、赤かぶ漬け50～60g、ツナ缶1缶(70g)、★(小ネギ15g、マヨネーズ大さじ3～4、麺つゆ(2倍濃縮) 小さじ2、鰹節小袋1袋(2g))

●**作り方**：①じゃがいもは洗って芽をとり、ラップで包んで電子レンジで加熱(600W・6分)。②赤かぶ漬けは5㎜角程度にきざむ。③じゃがいもの皮をむき、熱いうちにつぶす。④粗熱が取れたら、赤かぶ漬け、油を切ったツナ、★を加え、和えれば完成。



（レシピ考案：管理栄養士 榎本美歩氏）

問い合わせ ◎ 庄内総合支庁地域産業経済課 ☎0235-66-5490

庄内の食材を使ったお手軽レシピを動画で紹介しています。詳しくはこちら▶

募集

令和9年度学生募集

県立産業技術短期大学校（山形市）

募集科 ●デジタルエンジニアリング科 ●メカトロニクス科 ●知能電子システム科 ●情報システム科 ●建築環境システム科 ●土木エンジニアリング科

	出願期間	試験日
前期	11月13日(金)～27日(金)	12月6日(日)
後期	令和9年2月15日(月)～3月1日(月)	令和9年3月7日(日)

課　程　全て2年　問 ☎023-666-8792

県立産業技術短期大学校庄内校（酒田市）

募集科 ●生産エンジニアリング科 ●情報通信システム科 ●ＩＴ会計ビジネス科
※社会人特別入試あり
（生産エンジニアリング科、ＩＴ会計ビジネス科）

	出願期間	試験日
推薦	10月5日(月)～11月2日(月)	11月7日(土)
前期	11月9日(月)～24日(火)	11月28日(土)
中期	11月30日(月)～令和9年1月25日(月)	令和9年1月30日(土)
後期	令和9年2月1日(月)～3月17日(水)	令和9年3月23日(火)

課　程　全て2年　問 ☎0234-31-2300

県立山形職業能力開発専門校（山形市）

募集科 ●自動車科 ●建設技術科

	出願期間	試験日
一般選考	10月29日(木)～11月9日(月)	11月20日(金)

課　程　全て2年　問 ☎023-644-9227

県立庄内職業能力開発センター（酒田市）

募集科 ●金属技術科

	出願期間	試験日
前期	10月1日(木)～11月18日(水)	11月29日(日)
後期	12月7日(月)～令和9年1月27日(水)	令和9年2月7日(日)
追加※	令和9年2月15日(月)～3月10日(水)	令和9年3月20日(土)

※定員に達しない場合に限り実施します。

課　程　1年　問 ☎0234-31-2700

東北農林専門職大学（新庄市）

募集学科 ●農業経営学科 ●森林業経営学科

	出願期間	試験日
指定校推薦型選抜	11月4日(水)～11月11日(水)	11月21日(土)
一般選抜	令和9年1月25日(月)～2月3日(水)	令和9年2月25日(木)

課　程　全て4年　問 ☎0233-25-8302

東北農林専門職大学附属農林大学校（新庄市）【通称：山形農林大学校】

募集学科（コース） ●稲作経営学科 ●果樹経営学科 ●野菜・花き経営学科（野菜コース・花きコース） ●畜産経営学科 ●農産加工経営学科 ●林業経営学科

	出願期間	試験日
一般選抜	11月17日(火)～11月24日(火)	12月2日(水)

課　程　全て2年　問 ☎0233-22-1528

やまがた除雪志隊 隊員募集中!

県では、県内の高齢世帯などの除雪活動にご協力いただけるボランティア「やまがた除雪志隊」を募集しています。「やまがた除雪志隊」に登録いただくと、除雪活動時の交通費、宿泊費、ボランティア保険料を助成する「山形県除雪ボランティア活動支援事業」の補助金をご活用いただけます。

◆**対象者** 18歳以上で健康な方
※県内外、個人・法人を問わず、どなたでもご登録いただけます。

お申込みや詳細はこちら▶

問 **消費生活・地域安全課**
県民活動・防災ボランティア支援室
☎023-630-3157

催し物

県立博物館文化の日 無料開館

みんなで「やまはく」に行こう！
文化の日は、県立博物館の入館料が無料です。皆さんのご来館をお待ちしています！

◆**イベント内容**
●**クイズdeはくぶつかん探検！**
当日受付／終日参加可能
クイズを解きながら、山形の自然と文化を楽しく学ぼう！
●**わくわく石器プラバンづくり**
当日受付／定員になり次第終了
石器をスケッチして、世界に一つだけのプラバンを作ろう！

詳しくはこちら▶

◆**日時** 11月3日(火・祝)
午前9時～午後4時30分
（入館は午後４時まで）

問 **県立博物館 ☎023-645-1111**

お知らせ

2027年版やまがた県民手帳発売!

やまがた県民手帳には、山形県に関する各種統計データのほか、県内のお祭りやイベント、各種レジャー施設などお出かけに便利な情報、くらしの相談ダイヤル、防災のしおりなど暮らしに役立つ情報が満載です。
また、今回は加茂水族館のクーポンを掲載しました！
カバーは２色展開です。
●横罫線タイプ/ネイビー
●カレンダータイプ/パールホワイト
お近くの書店、量販店、コンビニなどでぜひお買い求めください。オンラインショップや当協会へ直接のお申込みもできます。

詳しくはこちら▶

問 **山形県統計協会**
☎023-623-3131

令和9・10年度の物品及び役務の調達に係る競争入札参加資格審査申請の定期受付を行います

◆**受付期間** 令和8年11月1日(日)～令和9年1月31日(日)
※紙申請は、閉庁日を除く
◆**申請方法** 電子申請または紙申請
（申請先：県庁会計課または各総合支庁出納室（地域振興局は総務課））
◆**資格の有効期間**
令和9年4月1日～令和11年3月31日（2年間）

詳しくはこちら▶

※令和７・８年度競争入札参加資格者名簿に登録されている方も更新の手続きが必要となりますので、忘れずに申請してください。

問 **会計局会計課 ☎023-630-2723**

山形県への使用料などの納付がさらに便利になります!
～eL-QR（エルキューアール）を活用した納付がスタート～

県が発行する納入通知書について、「eL-QR」（地方税統一QRコード）を活用した納付が始まりました。令和８年９月24日(木)以降、山形県から届く納入通知書にeL-QRが印字されている場合には、①～③の方法で納付できます。
①全国のeL-QR対応の金融機関窓口やATMでの納付
②〇〇ペイ、〇〇払いなどeL-QR対応アプリでの納付
③eL-QR対応のクレジットカード・ネットバンキングなどでの納付
対象となる納入通知書には、eL-QRが印字されておりますので、お手元の納入通知書をご確認ください。

詳しくはこちら▶

問 **会計局会計課**
☎023-630-2342

11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」実施月間です

県では、この期間を中心に、児童虐待の防止やこどもの人権に関心を持ってもらうため、「山形県オレンジリボンキャンペーン」を実施します。
児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの１本の電話で救われるこどもがいます。児童虐待かもと思ったら、すぐに市町村や児童相談所の窓口に連絡してください。

児童相談所 虐待対応ダイヤル いちはやく **☎189**

詳しくはこちら▶

問 **こども家庭・母子保健課**
☎023-630-2260

11月10日(火)～16日(月)はアルコール関連問題啓発週間です

多量の飲酒、20歳未満の者の飲酒、妊婦の飲酒などの不適切な飲酒は、心身の健康障害の原因となります。また、暴力、虐待などで家族へ深刻な影響を与えたり、飲酒運転、自殺などの関連問題の要因となります。飲酒に伴うリスクを正しく理解し、節度ある飲酒をして、健康で長く楽しく上手にお酒と付き合いましょう。

※節度ある飲酒量は、１日あたり純アルコール約20ｇ（日本酒1合または、ビール（500ml）1本程度）とされています。

問 **障がい福祉課 ☎023-630-2240**

山形県宝くじ情報

県内で販売された宝くじの売上げの一部は、県や県内市町村の収益金となり、私たちの身近な暮らしに役立てられています。宝くじは山形県内でお買い求めください。

年末ジャンボ宝くじ 10億円
年末ジャンボミニ 5,000万円
発売期間：11月24日(火)～12月25日(金)

詳しくはこちら▶

問 **財政課**
☎023-630-2044

令和８年10月30日(金)から山形県の最低賃金が改定されました

1時間　1,032円→1,092円

最低賃金以上の賃金が支払われていますか？お確かめください。詳しくは、厚生労働省最低賃金に関する特設サイトをご覧ください。

問 **雇用・産業人材育成課**
☎023-630-3245

高齢者の交通事故防止推進強化旬間（11月1日(日)～10日(火)）

日没がさらに早まるこれからの時期は、夕暮れ時から夜間にかけて、特に高齢者が関係する事故が増加する傾向にあります。車も自転車も、夕暮れ時以降は早めのライト点灯やハイビームの積極的な活用を意識し、安全運転を心がけましょう。また、歩行者は夕方からの外出時には明るい目立つ色の衣類と反射材用品の活用を心がけ、交通事故を防止しましょう。

問 **消費生活・地域安全課**
☎023-630-2460

プレゼントクイズ

ヒント 2～3ページ特集

戦後80年以上が経過し、県では、「〇〇」の資料や記憶を、未来へ確実に引き継ぐための取組みを進めています。さて、〇〇（漢字）には何が入るでしょうか？

正解者の中から抽選で下記賞品（指定はできません）をプレゼント！はがきに①クイズの答え②「県民のあゆみ」への感想など③郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。また、スマートフォンなどから電子申請によりご応募いただけます。

電子申請での応募はこちらから▶

あて先：〒990-8570（住所は不要です）山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」11月号プレゼントクイズ係 **締め切り：**11月30日(月)（当日消印有効）※応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

県政150周年記念賞【150名様】
成るほど山形ガチャ
県政150周年記念 県民のあゆみ限定カラーキーホルダー

道の駅やまがた蔵王「限定」ガチャを今回に限り特別プレゼント！

道の駅やまがた蔵王（山形市）＆ノビシロデザイン（南陽市）
※色はお選びいただけません。



A賞
山形県産豚肉使用 熟成ウインナー【5名様】
株式会社ヤマザワ



第６回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」畜水産加工品部門 最優秀賞

B賞
Kaki sand【10名様】
株式会社feふぁーむ



第６回山形のうまいもの「ファインフードコンテスト」果実加工品部門 優秀賞

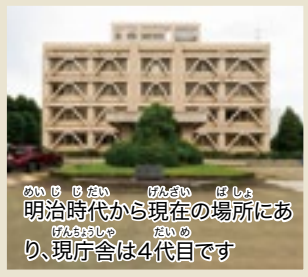


どうなってるの!?
山形地方・家庭裁判所

裁判所って、どんなところなの？

社会の中で起きる権利や義務についての争いごとを、公平に解決しています。

私たちが暮らす社会には、みんなが安心して生活するためのさまざまなルールがあります。それでも、お金の貸し借りなどで意見が合わなかったり、犯罪が起きてしまうことがあります。こうした争いごとや事件を、証拠をもとに法律にしたがって公平に解決するのが裁判所です。裁判官は、それぞれの話を聞き、提出された証拠を確かめながら、何が事実なのかを明らかにして、法律に照らし判断します。また、重大な犯罪を扱う裁判では、一般の市民から選ばれた「裁判員」が、裁判官と一緒に証拠を確認したり、話し合いをして判決にかかわることもあります。事件によって状況や証拠が違うため、さまざまな意見に耳を傾けながら、慎重に考えることが大切です。みんなが安心して暮らせる社会を守るため、公平な立場から争いごとの解決に向き合う。それが裁判所の大切な役割なのです。


明治時代から現在の場所にあり、現庁舎は4代目です


重大な刑事事件を扱う裁判員裁判では、裁判官の両側に一般の人から選ばれた裁判員が座り、一緒に審理を行います



山形地方裁判所裁判官
馬場 義博 さん

いろいろな人の話を聞き、自分で考えることはとても大切です。18歳以上になると、「裁判員」として裁判に参加することがありますが、裁判でさまざまな意見を出し合って話し合うことは、皆さんにとっても貴重な経験になると思います。興味を持ったら、ぜひ裁判所の見学や裁判の傍聴に来てみてください。


黒は公正さを表す色

裁判官が裁判中に着る特別な服は、「法服」と言います。黒色は、何色にも染まらず、公正な判断を下す象徴とされています。


傍聴席には記者用の席も

裁判の様子を見るための傍聴席です。その一角には、新聞やテレビなどの記者が座る席があり、メモをとるときに使える引き出し式の机がついています。

仕事部屋

裁判がない時には、証拠書類などを読んだり裁判をどう進めるか、判決をどうするかなどについて考えたりしています。


みんなで話し合う「評議室」

裁判員裁判では、裁判官と裁判員がこの部屋に集まり、有罪か無罪か、有罪の時はどのような刑を科すかなどを話し合います。

ここに広告を載せませんか？
県民のあゆみは発行部数約40万部、県内に広く配布。
40代以上の認知率約85%を超える県広報誌です。
詳しくは
◎掲載料：1枠300,000円（税込）
中面ページ1枠200,000円（税込）
◎問い合わせ先：県広報広聴推進課 ☎023-630-2087
県ホームページバナー広告も募集中！
◎掲載料：1枠50,000円/月

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報広聴推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534
表紙題字｜山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス https://www.pref.yamagata.jp/
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。